

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	認知プロセス論特論		
英文授業科目名	Topics on Cognitive processing		
開講年度	2008年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-人間コミュニケーション学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	人間コミュニケーション学専攻		
担当教官名	坂本 真樹		
居室	西6-511		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sakamoto@hc.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>人間には、視点の投影と推移、事態解釈、メタファー、知識形成をはじめとする様々な認知能力が備わっています。認知能力と深く関わる具体的に考察可能な対象を分析することは、直接探求することが難しい認知プロセスを理解するための手段として有効です。この授業では、日常無意識に用いている言葉や、無意識のうちに目にしている広告を採り上げ、人間の認知能力との関連で考察し、言語、広告、そして人間の認知能力について理解を深めることを目標としています。</p> <p>This course provides graduate students with an introduction to human cognitive processing such as perception, memory, categorization, and metaphor, focusing on language and advertising. The main goal will be to understand human cognitive processing through analyzing language and advertising.</p>
--

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>なし</p>
--

<p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>なし</p>

<p>【教科書等】</p> <p>適宜、資料や論文を配布します。</p>

Materials for the course will be provided as handouts.

【授業内容とその進め方】

講義と学生による発表（論文紹介など）を、テーマごとに行ってゆく。

Teaching will involve a mixture of lecture and students will be expected to give a presentation based on papers.

- 1回目：言語学及び広告学の変遷における認知科学的視点の位置付け
- 2～5回目：選択的知覚と言語と広告
- 6～7回目：知識形成（記憶・イメージ形成・カテゴリー化）と言語と広告
- 8～10回目：知識写像（メタファー）と言語と広告
- 11～14回目：感覚間の写像（共感覚メタファー）と言語

- 1: Overview of cognitive processing in language and advertising
- 2～5: Selective perception in language and TVCM processing
- 6～7: Knowledge acquisition / categorization in language and advertising
- 8～10: Knowledge domain mapping (metaphor) in language and advertising
- 11～14: Sensory domain mapping (synaesthesia) in language and cognition

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

成績評価：レポート、授業中の発表、授業参加度によって総合評価します。

評価基準：レポート評価点60% + 授業中の発表30% + 授業参加度10% = 100%

最低達成基準：上記の評価点で60%を取得すること

Assessment will involve a presentation in class and a final paper on one of the topics covered.

電気通信大学 平成20年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、事前にアポイントを取ること

Students are expected to make an appointment.

【学生へのメッセージ】

人間が無意識のうちに行っていることを意識化することによって、人間のもつ認知能力について理解を深めてください。この授業で得たことは、言語や広告はもちろんのこと、人間が関わるどのような研究テーマを専門にする学生にとっても、役立つことと思います。各自が積極性をもって授業に参加することにより、活気のある授業にしていきたいと思います。

【その他】

なし